音楽芸術学科 入学試験課題について　（文学部　音楽芸術学科）

一般編入学・社会人編入学

●「ピアノ実技」「声楽実技」「管楽器実技」より１つを選択し、**「入学願書」により届け出てください。**

●**［音楽実技カード］により演奏曲名、楽器名等を届け出てください。**また、演奏曲名、楽器名等は必ず控え（コピー）をとっておいてください。出願後の楽器名、曲名等の変更は認めません。

●音楽科目では、遅刻は原則認めません。

●ピアノ実技では、練習室にて実技試験前に10～15分程度練習時間を設けます（声楽実技・管楽器実技の副科ピアノを除く）。

●声楽実技・管楽器実技では、控室にて発声練習や音出しをすることができます。

■ピアノ実技

次のＡ群の①または②より1 曲、Ｂ群より１曲を選択し、２曲演奏すること。

※演奏はすべて繰り返しなしで、暗譜とする。
※演奏を途中で切ることもある。
※出願時に曲名を届け出ること。ソナタ形式の作品は楽章も明記すること。
※Ａ群から先に演奏すること。

	曲 名
A 郡	① J.S.バッハ 平均律クラヴィーア曲集 第１巻、第2 巻のフーガから任意の1 曲 ※フーガのみを演奏すること。
	② 次の作曲家の練習曲の中から任意の１曲 ショパン、リスト、モシュコフスキー、ドビュッシー、スクリアビン、ラフマニノフ
B 郡	ハイドン、モーツァルト、ベートーヴェン、シューベルトのソナタの中から任意の楽章（緩徐楽章は除く）

■声楽実技

（1）次のＡ、Ｂより合計２曲を選択し、演奏すること。
ただし選択方法は「Ａから２曲」もしくは「Ａから１曲、Ｂから１曲」のどちらかとする。

※歌詞はすべて原語とし、暗譜で全曲歌うこと（歌う範囲に指定があるものを除く）。
※演奏を途中で切ることもある。
※出願時に曲名、およびその調性を届け出ること。Ｂを選択の場合、伴奏譜**２部**を出願時に同封すること。
※伴奏者は本学で用意します。

	曲 名	作曲者	曲 名	作曲者
A	Già il sole dal Gange	A.Scarlatti	Ich liebe dich	L.v.Beethoven
	Sento nel core	A.Scarlatti	An die Musik	F.Schubert
	Son tutta duolo	A.Scarlatti	Die Lotosblume	R.Schumann
	Le violette	A.Scarlatti	An Chloe	W.A.Mozart
	Caro laccio	F.Gasparini	かやの木山の	山田耕筰
	Caro mio ben	T.Giordani	からたちの花	山田耕筰
	Sebben,crudele	A.Caldara	さくら横ちょう	中田喜直
	Nel cor più non mi sento	G.Paisiello	平城山	平井康三郎
	Vergin,tutto amor	F.Durante	浜辺の歌（１、２節のみ）	成田為三
	Se tu m’ami	G.B.Pergolesi	早春賦	中 田 章

B	任意の曲

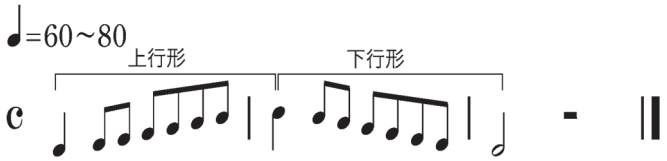
（2）副科ピアノ 自由曲１曲を演奏すること。

※楽譜が出版されている曲とする。
※出願時に曲名を届け出ること。
※演奏はすべて繰り返しなしで、楽譜を見て演奏してもよい。
※演奏を途中で切ることもある。

■管楽器実技 ◆楽器の指定はありません

（1）次のＡ、Ｂをそれぞれ演奏すること。なお、Ｂについては以下の通りとする。

※演奏はすべて繰り返しなしで、楽譜を見て演奏してもよい。
※演奏を途中で切ることもある。
※伴奏はなし。
※出願時に楽器名（移調楽器は楽器名と楽器の調）と曲名を届け出ること。

A	それぞれの（移調）楽器の調における♯、♭２つ以内の長調、短調の音階から、当日指定された長調と短調一つずつを、スラーまたはタンギングで１オクターブ演奏する。短調の音階は和声的短音階とする。音階は上行形と下行形を続けて演奏し、音階の開始音の高さは当日指定される。リズムおよびテンポは以下のものとする。 
B	任意のエチュードまたは楽曲

（2）副科ピアノ 自由曲１曲を演奏すること。

※楽譜が出版されている曲とする。
※出願時に曲名を届け出ること。
※演奏はすべて繰り返しなしで、楽譜を見て演奏してもよい。
※演奏を途中で切ることもある。